国立病院機構大阪医療センター　令和３年度　第１回　倫理委員会
議事要約

日　　時：令和３年10月５日（火）　16:00～16:45
場　　所：国立病院機構　大阪医療センター　緊急災害医療棟　3F　VIPルーム
出席者　：副院長・三田英治（委員長）、臨床研究センター長・白阪琢磨（副委員長），
統括診療部長・渋谷博美、看護部長・西本京子、薬剤部長・吉野宗宏、
事務部長・田中英之
院外委員：大野ゆう子、鍵谷文子、片岡雄一、北村英雄、鈴木敬一郎、三木健二
欠席者　：日高庸晴

議題：委員長より定足数を満たしているので開催出来る旨の発言があった。
1. 議事に先立ち、松村院長より院外委員に挨拶（その後退室）
2. 院内委員の紹介（略）
3. 実施許可申請の審査について
① 実施許可申請202
「遺伝性乳がん卵巣がん症候群の未発症者に対する継続的健診（自費診療）」
（研究責任者：下部消化管外科科長・遺伝診療部長　加藤健志）
遺伝診療部長・加藤健志より申請課題の説明があった。

指摘及び質問と回答は以下の通り。
Q1)参考資料１の図で具体的対象者は誰か？
A1)HBOC対象者である。Step２以降も自費診療の対象となる。

Q2)BRCA検査とは？
A2)癌患者の場合は癌組織で治療の選択や効果の指標として計測するが、自身の染色体に同じ遺伝子異常があるかを調べ、あれば、他の癌腫の出現の可能性や悪性度が高い可能性が予見され、家族にも同じ遺伝子異常がある可能性が出てくる。

審議の結果、倫理的に問題なく、修正の上承認となった。
「ほぼ　皆無」　⇒「ほぼ　無い」に修正

② 実施許可申請203
「無償トライアルとして実施するマルチ遺伝子パネル検査『ACTRisk』に関する研究申請」
（研究責任者：下部消化管外科科長・遺伝診療部長　加藤健志）
遺伝診療部長・加藤健志より申請課題の説明があった。

指摘及び質問と回答は以下の通り。

Q1)いくつ検査を行うのか

A1) 今回は１つ

Q2)検査の限界が将来分かった場合はどうするのか？

A2)遺伝カウンセラーがそれも含め詳細に本人の考えを確かめ確認をとるので、本人の考えに応じて対応出来る。

Q3)COI は問題ないか？

A3)COI は他の該当委員会で審査される。

審議の結果、倫理的に問題なく承認となった。

4. その他

- オンライン接続について
  次回もオンライン開催となった場合には、開始時刻前に院外委員との接続状況を確認の上、開催する。

- 次回開催日
  2022 年 2 月 1 日(火)16:00～